

基本評価シート

様式

北海道 上川・旭川鷹栖嵐山地域

(北海道上川総合振興局保健環境部環境生活課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	北海道指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画（ニホンジカ）		
	令和6年度（2024年度）エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務（旭川鷹栖・嵐山地域）		
都道府県名	北海道	担当者部・係名	上川総合振興局保健環境部 環境生活課自然環境係
担当者名	高橋 克巳	担当者連絡先	0166-46-5922
捕獲実施事業者	北海道猟友会・構研エンジニアリング受託コンソーシアム (認定を受けている)	予算額（※2）	195,038,000円
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	108,148,000円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2 指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和6年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
50頭	56頭	112%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
73万頭※ (個体数指数: 東部148、北部127、中部112、南部388)	東部: R8末に個体数指数50以下 (H23を100) 北部・中部: R13末に個体数指数50以下 (H23を100) 南部: R8末までに減少に転じさせる	設定していない
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲(個体数調整)
35,232頭(R5)	61,491頭(R5)	58,803頭(R5)

※令和5年度推定生息頭数。東部（オホーツク、十勝、釧路、根室）、北部地域（空知、上川、留萌、宗谷）、中部地域（石狩、胆振、日高）の合計。南部地域（後志、渡島、檜山）は、これとは別に3~22万頭の間と推定

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

H9以降、道が策定した「エゾシカ保護管理計画」（H27以降「エゾシカ管理計画」）に基づき、狩猟期間の延長や可猟区域の拡大、雌ジカ捕獲制限の緩和、一斉捕獲の実施、モニタリングに基づく個体数指数を用いたフィードバック管理の推進等の対策を進めてきた。
--

2. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>第二種特定計画である「北海道エゾシカ管理計画」において、指定管理鳥獣捕獲等事業について「エゾシカによる生物多様性への影響や被害等が深刻又は懸念される地域においては、指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲を必要に応じて計画的に実施する」としている。</p> <p>これに基づき、鳥獣保護区や自然公園など、市町村等による捕獲が困難な地域でエゾシカの捕獲を実施する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和6年12月10日～令和7年3月26日(※委託期間)
実施区域	<p>旭川鷹栖・嵐山地域〔嵐山鳥獣保護区〕</p> <p>実施区域が所在する旭川市及び鷹栖町は、合わせて約32万人が暮らす農業や木工業が盛んな地域である。両市町の農業被害は令和5年度で約2,300万円に及び、年間280頭から350頭程度のエゾシカが捕獲されているが、被害軽減や生息数減少の効果はみられない。</p> <p>嵐山地域は鳥獣保護区に指定され、国有林と市有地に区分され、市有地は嵐山公園として散策路や展望台等が整備されている。嵐山公園の北東部はスキー場として整備されていたが現在は閉鎖されている。また、南に流れる石狩川、オサラッペ川は特定猟具使用禁止区域(銃器)に指定されている。</p> <p>エゾシカの越冬適地となっており、冬季は複数の群れが集合し200頭以上の個体が生息すると推定され、樹皮剥ぎ、春植物の食害、アイヌ文化を伝える笹葺のチセにも被害があるが、鳥獣保護区に指定されていることから、これまで本地域で捕獲事業は行われていなかったが、令和5年度から本事業を開始し、今回が2回目の実施となった。</p>
関係機関との協力	<p>・振興局と両市町関係部署を会員とする協議会を設置し、連携協力を図ると共に被害防止に向けた調整を行った。</p> <p>・捕獲を実施する期間の前後に調整会議を開催し、事業実施への理解を得ると共に意見を聴取した。</p> <p>出席機関：川市・鷹栖町・猟友会・森林管理署・道警旭川方面本部・JR北海道・NEXCO・旭川公園緑地協会・道立総合研究機構</p>
事業の捕獲目標	<p>(112%達成)</p> <p>=56頭(実績値) / 50頭(目標値)</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部(耳、尾など)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真(証拠写真は、捕獲者・捕獲個体・捕獲情報を記載したホワイトボード等を撮影することとし、またGPS機能付きのカメラ(スマートフォンを含む)で撮影し、データも併せて添付する。)</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p>
捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <p><input type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全てペットフード製造業者に搬入</p>

環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。
	<p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 (内容：こまめに見回りを行い、錯誤捕獲があった場合には速やかに対応するようにした。) <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。
	<p>鳥類の鉛中毒等について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。
	<p>鉛製銃弾について ※銃弾の使用はない</p> <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	<p>捕獲実施に先立ち、受託者が作成する「捕獲作業計画」において、連絡体制や実施体制、緊急連絡体制、周辺住民等に対する周知体制、及び事故防止に向けた捕獲時の現地立ち入り規制体制等を記載させた。</p> <p>受託者の内部にあつては、上記で定めた安全管理体制に基づき、従事者全員がそれぞれの役割を把握できるよう安全管理体制を構築させた。</p> <p>捕獲事業の実施にあつては、予め捕獲場所、実施期間、及び捕獲手法について市町村等関係機関と調整会議を開催し、地域住民等にチラシを配布するなどにより周知を図らせた。</p> <p>捕獲事業の実施期間は、実施区域へ立ち入る際に腕章を着用し、捕獲事業者であることを明確にした上で、必要に応じ関係者以外の立ち入りを規制した。</p> <p>また、従事者のみならず、地域住民等の第三者の安全の確保に努めるとともに、労働安全衛生法等関係法令に基づく措置を講じた。特に、本業務は冬期間に実施されることから、事前に天候等の情報を入手し、移動時も含めて事故等の無いよう十分な装備と計画のもと実施させた。</p>
捕獲従事者の体制	<p>【雇用体制】</p> <p>捕獲従事者数：23人 (内訳)</p> <p>正規雇用者： 人、期間雇用者： 人 日当制：23人</p>

3. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	<p>評価：嵐山地域における捕獲事業は昨年度に続き2回目の実施となった。目標頭数50頭に対し56頭の捕獲となり目標を達成した。また、メスの捕獲は40頭となり全体のおよそ7割を占めた。(成獣メス27頭捕獲のうち妊娠個体24頭を捕獲)昨年度の捕獲数27頭と比較し2倍以上の成果を得た。</p> <p>同じ事業者による2回目の実施ということもあり、作業の効率化や捕獲方法等にさらなる工夫が凝らされ、CPUEは前回より増加している。</p>
	<p>改善点：今回の捕獲事業は高効率で捕獲することができた。捕獲努力量を上げることで、捕獲頭数の増加が期待できる。</p>
【実施期間】	<p>評価：12月まではエゾシカの痕跡が少ない状況であったが、年明け以降、当地域への移動が始まり20頭程度の群れが確認できた。捕獲数から考慮しても当地域はエゾシカの越冬地であることから、1～3月の捕獲が有効である。</p>

	改善点：近年、積雪状況の年変動も大きいことから、エゾシカが越冬地に移動する時期も変動する可能性がある。幅広く捕獲実施可能期間を設け、柔軟に対応できるようにする必要がある。
【実施区域】	評価：越冬地になっているエゾシカを群れ単位で捕獲することは、当地域を含め周辺地域の農業被害等の軽減にもつながることから、捕獲事業の実施地域として適している。
	改善点：今回は主に2カ所の捕獲ポイントを設定し実施したが、ほかにも有効と考えられる捕獲ポイントの選定が必要である。
【捕獲手法】	評価：くくりわな猟において、誘引餌に乾草牧草のほか、旭川市から提供を受けた街路樹の剪定枝を用いたところ、高い誘引効果を示した。樹木の冬芽や樹皮は、エゾシカが冬季間の餌としているため、警戒されず誘引できた可能性がある。本来は廃棄してしまう素材を有効活用するものであり、ヒグマを誘引することはないと考えられるので、他事業においても参考とすべき手法である。 また、凍結防止のためラップを載せたり、行動ルートの変化に合わせ設置位置を移動させたりし、設置方法にも工夫を凝らした。
	改善点：今回は「くくりわな猟」のみの実施だったが、当初は、ジャンプ台エリアで「銃猟」の実施を予定していた。公園管理者の反対により実施は中止となったが、当エリアを一時的に閉鎖するなど安全管理を徹底した上で「誘引狙撃」を行うことも有効と考えられるため、引き続き検討を進めたい。
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価：高い捕獲技術を有する団体と、調査やデータの取りまとめ及び結果の考察を得意とする法人がコンソーシアムを構成して受託したことから、十分な体制であったと考える。
	改善点：当地域における捕獲事業は2度目となり、効果的な手法等が確立された。今回は認定鳥獣捕獲等事業者であることを参加資格とした一般競争入札により、委託業務として実施する。
【個体処分】	評価：捕獲個体全頭をペットフード製造業者に譲渡し有効活用が図られた。
	改善点：くくりわなで捕獲し、電気止めさし器で殺処分するため、食肉に有効利用することが困難である。 銃器による捕獲が実施可能となった場合は、地元のエゾシカ肉処理施設と受入れを交渉し、有効活用を進める。
【環境配慮】	評価：当地域はクマガラの生息地となっており、オジロワシの渡来も確認されているが、本事業では銃器の使用はなく大きな影響はなかった。
	改善点：銃器による捕獲が実施可能となった場合は、野鳥について専門性の高い有識者からも意見を聴取すべきである。
【安全管理】	評価：地域住民や公園利用者に向けてチラシ配布やホームページによる周知を図り、捕獲実施個所周辺にロープや看板による立ち入り規制を実施し、安全管理の徹底を図った。

	改善点：当地域は一般の方も利用する公園となっていることから、完全な閉鎖は困難である。引き続き、公園利用者に配慮しながら安全管理の徹底が求められる。
3. その他の事項に関する評価及び改善点	<p>今回の捕獲事業は目標頭数に達し、一定の成果が得られた。捕獲従事者は地元のハンターであり、捕獲技術の向上にもつながったと評価できる。</p> <p>次回で当事業は最終となるため、今後は市町村が主体となり実施する働きかけが必要と考える。</p>
4. 全体評価	<p>くくりわな猟ではメスだけを狙って捕獲するのは難しい中で、56頭のうち40頭がメスの捕獲だったことは評価に値する。センサーカメラにより生息状況を把握するなど、メスの群れを集中捕獲する技法の取得が望まれる。</p> <p>スノーモビルは見回りや捕獲個体の回収を効率的にすることから、冬季の捕獲事業において別段の支障がなければスノーモビルの使用が推奨される。</p>

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

<p>両市町における冬季の捕獲事業は限定的に実施されているため、本事業による捕獲は両市町とも好意的に受け入れていただいている。</p> <p>56頭の捕獲のうち妊娠個体は24頭であり、メスの捕獲は相乗効果もあることから、市町村に対し冬季のメス捕獲の重要性を示すことができた。</p>

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input checked="" type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ()	

③目撃数	<input type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

項目	作成できる概況図（地図）※についてチェック	
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図	<input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図	<input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図	<input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input checked="" type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する 上での課題	特になし	

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※¹： _____ 人日

事前調査人日数概数※²： _____ 人日

出猟（捕獲作業）人日数： _____ 人日

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	_____ 人日	_____ 人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※¹： _____ 178 人日

事前調査人日数概数※²： _____ 4 人日

出猟（捕獲作業）人日数： _____ 182 人日

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	840 基日	380 基日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②目撃数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数※1	CPUE※2	SPUE※3
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUEは前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	56 頭	27 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0.714	0.815	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0.375	0.259	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
-----------------------	-------	-------	--

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数 ^{※1}	CPUE ^{※2}
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	56頭	840基日	0.067頭/基日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUEは前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数： 133人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数： 56個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

実施日時を作業日報に記載するとともに、捕獲個体毎に捕獲個体記録票を作成し、捕獲情報を記載したホワイトボード等を含めて撮影した写真を添付することとしている。

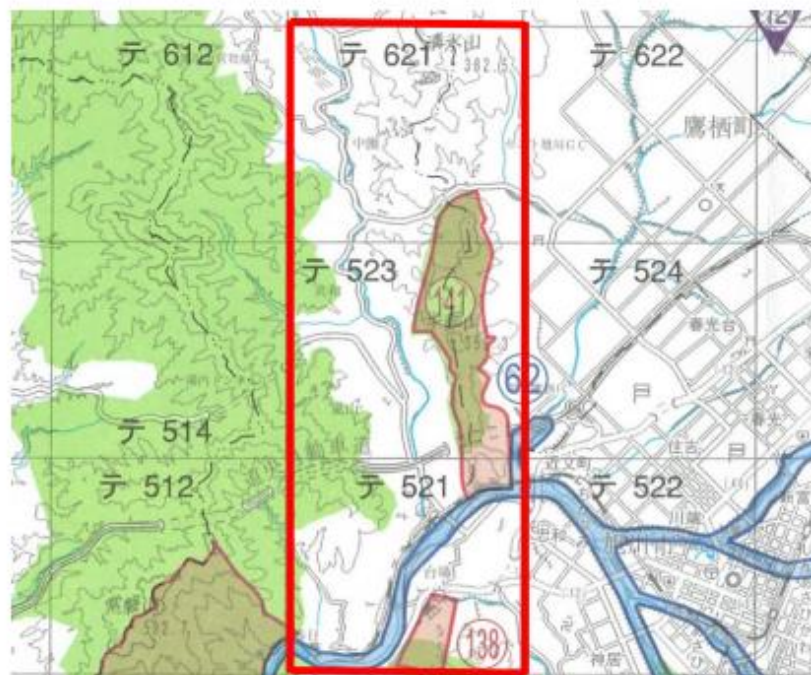
捕獲した個体の処理については、発注段階から受入予定先を明記し、受託者が有効活用事業者と調整しながら捕獲事業を実施することとしており、納入結果についても報告させている。

【位置図】

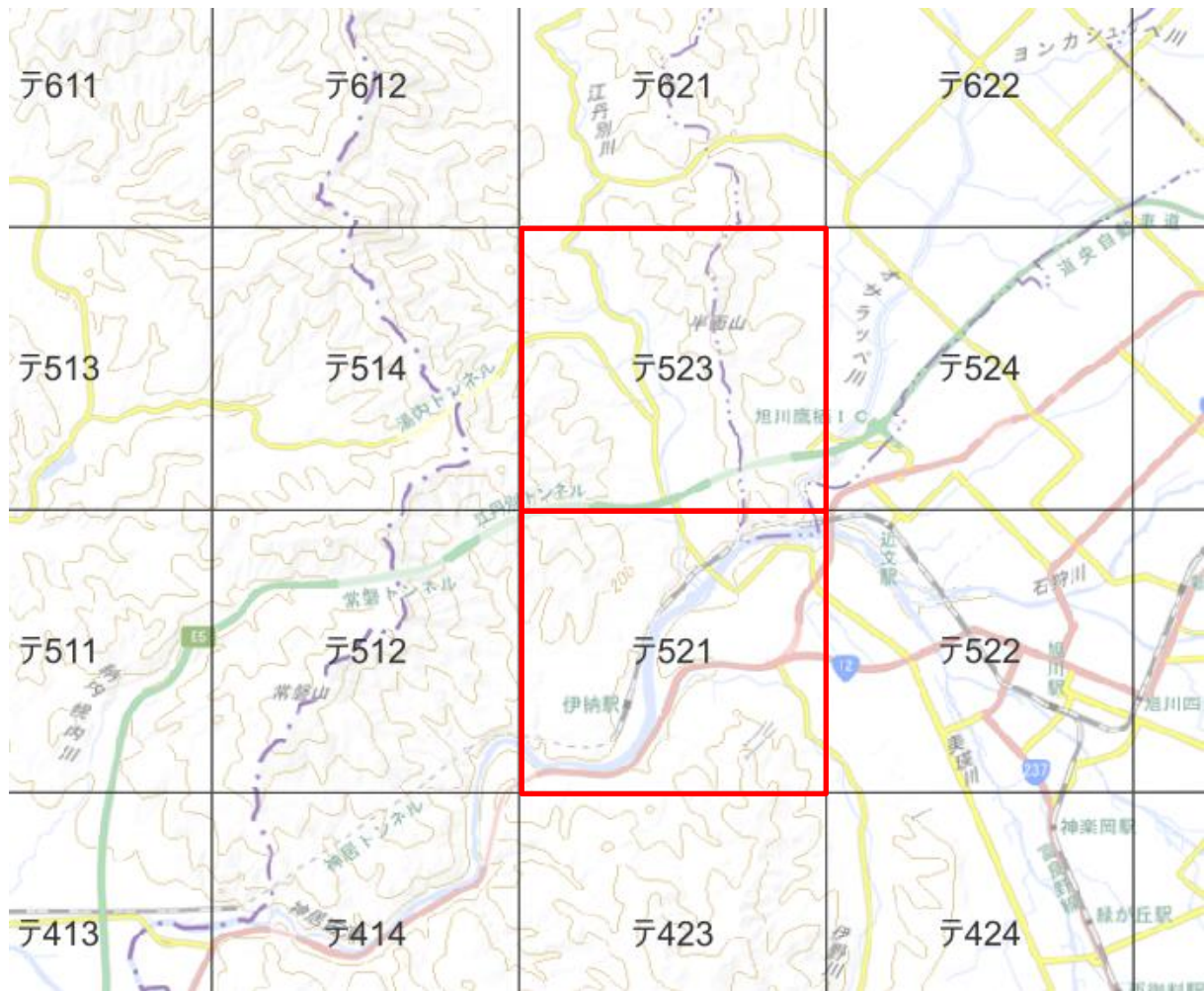


【捕獲実施区域図】

嵐山鳥獣保護区はNo.141 が示す区域



○概況図



テ523 捕獲数 : 14、CPUE : 0.070

テ521 捕獲数 : 42、CPUE : 0.066